

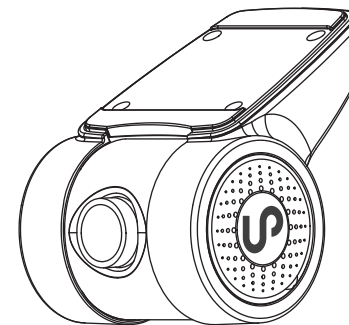
UP UPTY × KEIYO

ドライブレコーダー UP-SAFETY

取扱説明書

UP-K/R

UP UPTY × KEIYO



20181122

ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に“安全上のご注意”(P.4～6)“使用上のご注意”
(P.7～10)はご使用前に必ずご一読ください。

本製品の仕様(外観、付属品等)は、改良のため予告なく変更
することがありますが、ご了承ください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
製品の構成	12
各部名称	13
microSDカードの挿入、取り出し方法	14
音声録音/音声案内	15
車両への設置	16
録画方式	22
LED表示	24
録画時間	25
録画ファイルとタイムギャップ	26
microSDカードの構成	27
microSDカードのフォーマット	28
メニュー	29
ファイルの再生	32
本体ソフトウェアのアップデート	33
製品仕様	34
保証書	36

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取り付け、配線について

⚠ 警告

- ⊘ ●DC12V / 24V マイナスアース車以外で 사용하지 ない
DC12V / 24V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- 視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。
交通事故やけがの原因となります。
- 取り付けやアース配線に保安部品を使わない
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、燃料タンクなどのボルトやナット類など。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

- ⊘ ●車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
- ❗ ●取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするに重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因となります。
- 正規の接続をする
誤った接続をすると火災や事故、故障の原因となります。
- コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- コード類の配線は高温部を避けて行う
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。




⚠ 注意

- ⊘ ●水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けない
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- 振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
- ❗ ●付属の電源ケーブルを使用する
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。


安全上のご注意

使用について

警告

-  ● **本機を分解、改造しない**
火災や感電、故障、データ損失の原因となります。
分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。
-  ● **運転中に操作しない**
交通事故やけがの原因となります。
必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。
- **機器内部に水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
-  ● **故障や異常な状態のまま使用しない**
万一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのままご使用になると事故や火災、感電の原因となります。お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスにご相談ください。
- **ヒューズは必ず規定容量品を使用する**
ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量品と交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると火災の原因となります。

注意

-  ● **本機を車載用以外には使用しない**
火災や感電、故障、けがの恐れがあります。

使用上のご注意

- ほかの無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPS などの近くで使用すると、影響を受けたり与えたりすることがあります。
- 本機を高温、及び低温に長期間放置しないでください。
・ 一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
・ 結露のない状態でご使用ください。
- レンズは常に清潔な状態でお使いください。
・ レンズが汚れますと画質が低下します。
・ お手入れはレンズクロスなどで拭いてください。
- 長時間使用する場合、通風しを良くしてください。
・ 本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- 本機の掃除やお手入れの際には、水、ワックス、その他の洗剤をかけたままにしないでください。
・ 故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本機で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないよう注意してご利用ください。
- 本機は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用になれません。

使用上のご注意

使用できる microSD カードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHC カード」、「microSDXC カード」を「microSD カード」と総称して表記しています。

本機では下記の SD 規格に準拠した microSD カードに対応しています。下記以外の microSD カードは使用できません。

- microSDHC カード
容量：8～32GB、スピードクラス：CLASS10 以上
- microSDXC カード
容量：64～128GB、スピードクラス：CLASS10 以上

⚠ microSDカードの注意事項

- microSD カードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。初めて使用される microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。フォーマットを行わなければ録画されません。(⇒P.28)
- 本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSD カードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- 安心してお使いいただくため、1 ヶ月に 2 回程度は microSD カードをフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどにバックアップを作成してください。
- microSD カードは消耗品です。定期的に録画映像を確認し、6 ヶ月を目安に交換することをお勧めします。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態でも microSD カードの抜き差しを行うと録画されたファイル、または microSD カードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので下記手順をお守りください。

microSDカードの抜き差し手順

<microSDカードの抜き方>

1. ドライブレコーダーの電源をオフにして、LED が消灯したことを確認します。
2. ドライブレコーダーから microSD カードを取り出します。
(microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます)

<microSDカードの挿し方>

本体の電源が切れている状態で microSD カードを挿入します。
microSD カードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入してください。

使用上のご注意

保証範囲

- 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ(無録画時間)が存在します。
- 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご利用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての条件において危険をお知らせするものではありません。
- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責任を負いません。
- 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、microSD カードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責任を負いません。
- 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

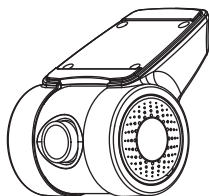
次の場合は故障ではありません

- LED の信号機やテール / ストップ / ウィンカーランプは録画した映像で点滅、または消灯したように映る場合があります。
- 動作中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- G センサーは衝撃の方向によって検知が異なるため衝撃検知録画ファイルが生成されない場合があります。

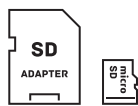
MEMO

製品の構成 (同梱品一覧)

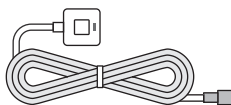
ご購入後、同梱品をご確認ください。



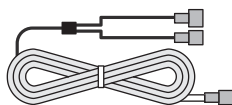
ドライブレコーダー 本体



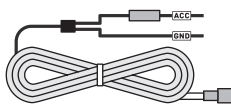
SD カードアダプター
microSDHC カード 8GB



手動録画スイッチ (2.5m)



中継ケーブル (7m)

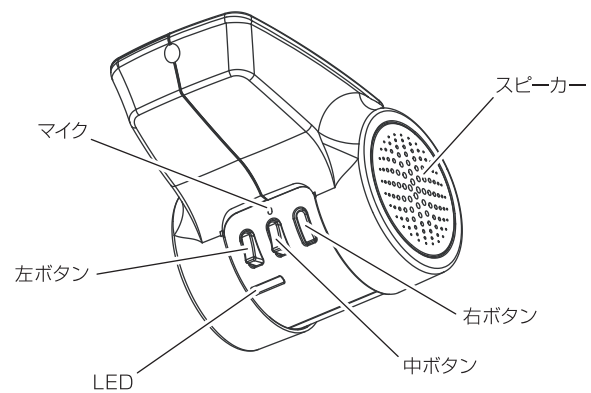
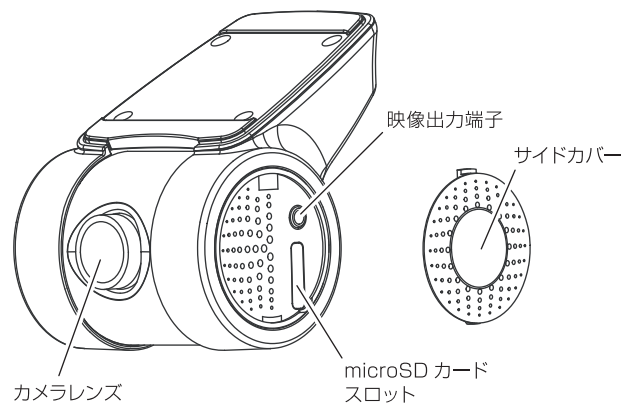


電源ケーブル (2.5m)



取扱説明書 (保証書付き)

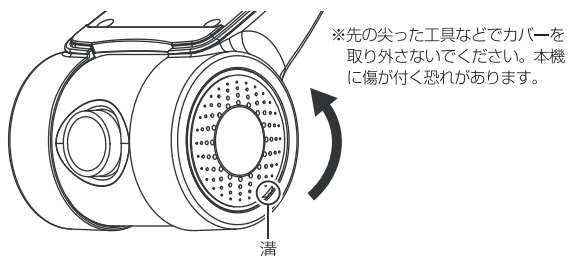
各部名称



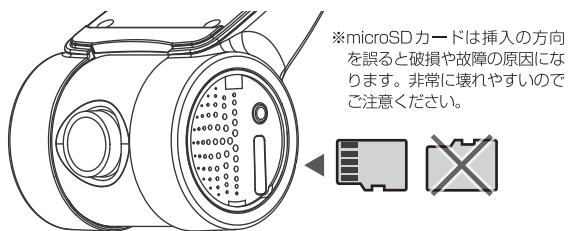
microSDカードの挿入、取り出し方法

microSDカードの抜き差しを行う場合は、必ず本体の電源をオフにし、LEDが消灯していることを確認してから行ってください。

- サイドカバーの取り外し方
溝を利用しサイドカバーを取り外します。



- microSDカードの挿入
microSDカードは下図の向きでカチッと音がするまで挿入します。



- microSDカードの取り出し
microSDカードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。
※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

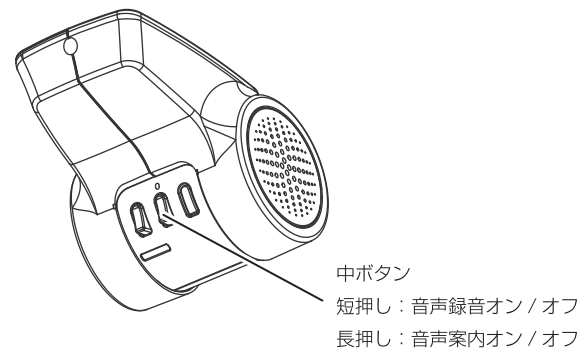
microSDカードの挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください。

音声録音 / 音声案内

■ 音声録音

録画ファイルに音声を録音するか選択できます。
中ボタンを短押しすると音声録音のオン・オフが切り替わります。
ボタン操作時に音声案内があります。

- 音声録音のオン：「音声録音を開始します」
- 音声録音のオフ：「音声録音を終了します」
- ※音声案内がオフ、またはボリューム設定がオフのときは案内はありません。



■ 音声案内

動作状況を音声で案内するか選択できます。
中ボタンを長押しすると音声案内のオン・オフが切り替わります。
ボタン操作時に音声案内があります。

- 音声案内のオン：「音声案内を開始します」
- 音声案内のオフ：「音声案内を終了します」
- ※ボリューム設定がオフのときは案内はありません。

車両への設置

■ 取り付けの前に…

取り付け作業を行う前に「安全上のご注意」を再確認し、必ずお守りください。また、取り付け時の注意に従い作業を行ってください。

⚠ 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください

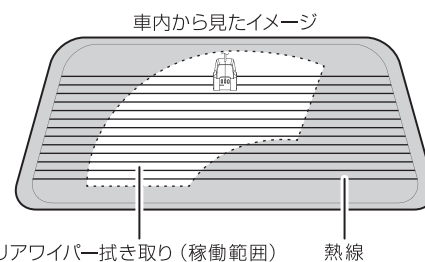
取り付け時の注意

- リアワイパーが装着されている場合はワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 検査標章などを避けて取り付けてください。
- 添付の両面テープは再接着できません。本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
- ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。

車両への設置

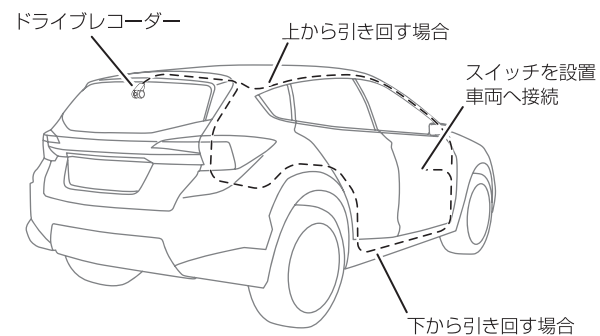
■ 取り付け位置

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。



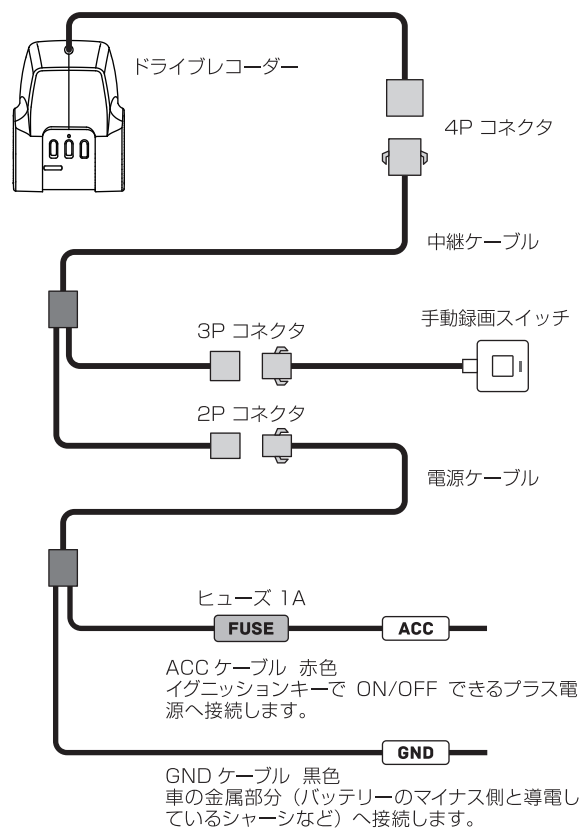
※リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

■ ケーブルの引き回し例



車両への設置

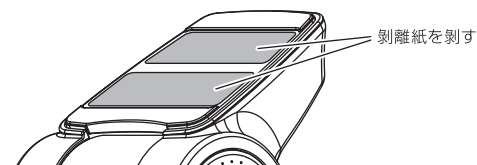
■ 接続方法



車両への設置

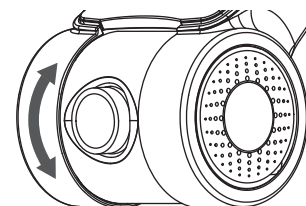
■ 本体の取り付け

1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、リアガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、本体をリアガラスにしっかりと貼り付けます。



※添付の両面テープは再接着できません。
本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。

3. 「ケーブルの引き回し例」、「接続方法」(⇒P.17～18)を参照して配線をします。
4. カメラレンズ面が路面に対して水平になるように角度を調整します。



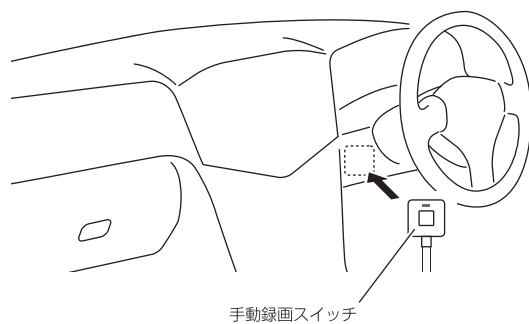
車両への設置

■ 手動録画スイッチの取り付け

手動録画スイッチは運転席側の操作しやすい場所に取り付けます。

1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、貼り付け面の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 剥離紙を剥がし、手動録画スイッチを貼り付けます。

取り付け位置例



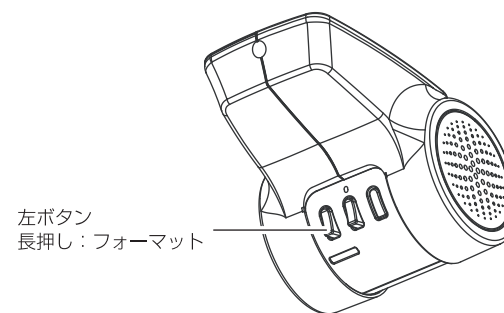
車両への設置

■ 接続後の確認

1. ケーブルの接続後、余ったケーブル類は運転の妨げにならないよう束ねてテープやクランプで固定するなどしてください。
2. サイドカバーを外し、microSDカードを挿入します。
3. お車のエンジンを始動、またはACCをオンにして本機の電源をオンにします。
4. 左ボタンを長押しして、microSDカードのフォーマットを行います。



microSDカードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。初めて使用されるmicroSDカードは本機でフォーマットを行ってください。フォーマットを行わなければ録画されません。



5. フォーマットが完了すると常時録画を開始します。
6. サイドカバーを取り付けます。

録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画があります。

- ファイル名について
ファイル種類 + 録画した年月日、時分秒の組み合わせで作成します。
※録画ファイル構成については P.27 をご確認ください。

FILE yymmdd-hhmmss.MOV

hh/時、mm/分、ss/秒
yy/年(西暦の下2桁)、mm/月、dd/日
ファイル種類
FILE : 常時録画
MANU : 手動録画
EMER : 衝撃検知録画

1. 常時録画

本機はお車のエンジンを始動、または ACC がオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。開始は音声でお知らせします。

1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。常時録画中はLEDが青点灯します。

※音声案内がオフ、ボリューム設定がオフのときは音声案内はありません。



保存フォルダ : Normal
ファイル名 : FILE yymmdd-hhmmss.MOV

22

録画方式

2. 手動録画

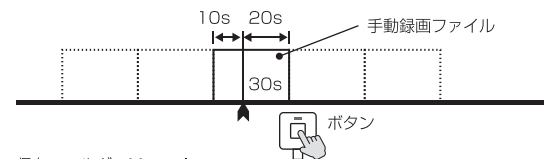
常時録画中に手動録画ボタンを押すと、手動録画ファイルを作成します。

ボタンが押されたタイミングから前10秒、後20秒、計30秒間を1つのファイルとします。手動録画中はLEDが紫点灯します。

手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※手動録画中はボタン操作はできません。

※手動録画中に衝撃を検知すると衝撃検知録画を行います。



保存フォルダ : Manual
ファイル名 : MANU yymmdd-hhmmss.MOV

3. 衝撃検知録画

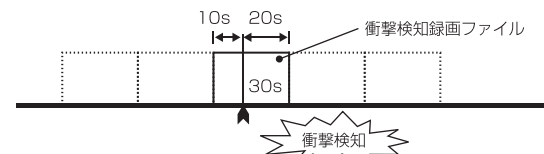
常時録画中、または手動録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。

検知したタイミングから前10秒、後20秒、計30秒間を1つのファイルとします。衝撃検知録画中はLEDが紫点灯します。

衝撃検知録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※衝撃検知録画中はボタン操作はできません。

※衝撃検知録画開始時に「ピッ」と鳴ります。(音声案内はありません)



保存フォルダ : EMER
ファイル名 : EMER yymmdd-hhmmss.MOV

23

LED 表示

■ ドライブレコーダー本体 / 手動録画スイッチ 共通

● 録画動作

○ 点灯 ○ 点滅

LED	説明
○ 青	常時録画中
○ 紫	手動録画中
	衝撃検知録画中

● 基本動作

LED	説明
○ 青	メニュー表示中
	microSD カード 未フォーマット
○ 紫	microSD カード フォーマット中
○ 赤	microSD カード 未挿入
	microSD カード 読み込み、書き込み異常
○ 赤	本体 異常

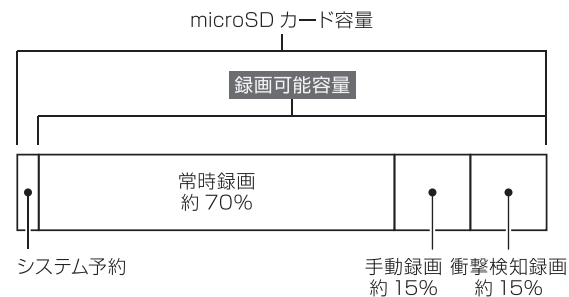
● その他

LED	説明
○ 赤→青	アップデート中

録画時間

■ 録画可能容量

- microSD カードに録画できる容量は、録画方式によってそれぞれの容量が決められています。microSD カードの容量から、システム予約を引いた残りが録画可能容量となります。
- 録画可能容量の約 70% が常時録画、約 15% が手動録画、約 15% が衝撃検知録画の容量となります。
※microSD カードの容量によって録画可能容量は変わります。



■ microSD カード容量別録画時間

microSDHC カード容量	8G	16G	32G
録画時間	約 1時間20分	約 2時間50分	約 5時間45分

microSDXC カード容量	64G	128G
録画時間	約 11時間35分	約 23時間15分

※上記の録画時間は常時録画、手動録画、衝撃検知録画の合計時間です。

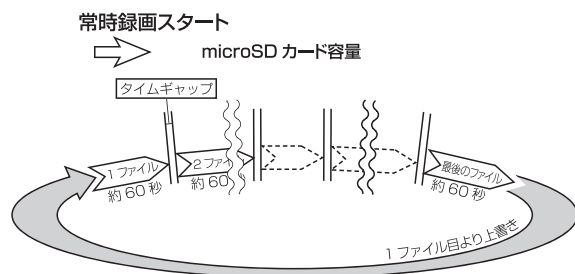
※各録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考となります。

ファイル構成とタイムギャップ

■ ファイル構成

常時録画中は約 60 秒毎に録画ファイルが作成されます。

microSD カードの録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。



※録画時間が 60 秒に満たない状態で電源を切った場合には、その時点で新しいファイルが作成されます。

※常時録画中に手動録画、及び衝撃検知録画があった場合にはファイル名が変更されます。

※手動録画は microSD カードの録画可能容量の約 15%、衝撃検知録画は約 15%まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。

※大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

■ タイムギャップ

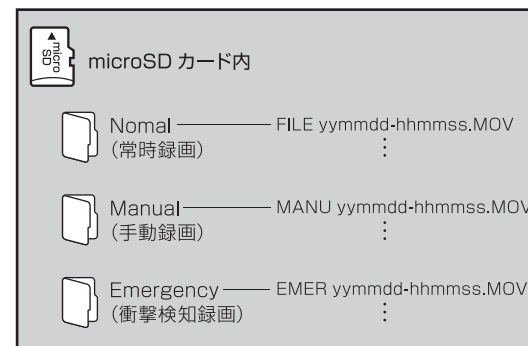
タイムギャップ（ファイル間の無録画時間）は理論上約 0.1 秒あります。

ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。その間は録画はされません。

※ データ保存のためには電源を切り、LED が消灯してから microSD カードを抜き取ってください。

※ 実際のタイムギャップは約 0.1 秒より短くなる場合があります。

microSD カードの構成



microSDカードのフォーマット

microSDカードは専用のファイルシステムに書き換える必要があります。初めて使用されるmicroSDカードは本機でフォーマットを行ってから使用してください。

本機で使用するmicroSDカードは専用のファイルシステムとなっており、基本的にフォーマットを行う必要はありません。正常に書き込み、読み込みができない場合や、動作が不安定な場合に再度フォーマットを行ってください。

microSDカードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認してください。

※フォーマット時にはすべてのデータが削除されます。大切なデータは必ずパソコンなどにバックアップを作成してください。

⚠ フォーマットは必ず本機で行ってください

※本機でお使いいただくmicroSDカードは、本機専用としてお使いください。

※本機で使用中のmicroSDカードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。

※他の機器で使用了microSDカードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

■ フォーマット手順

本機の電源がオンの状態で、左ボタンを長押しするとフォーマットを開始します。

※フォーマットは途中で中止することができません。操作には充分ご注意ください。

※フォーマットが完了するまでmicroSDカードを抜いたり、電源をオフにしないでください。microSDカードが故障するおそれがあります。



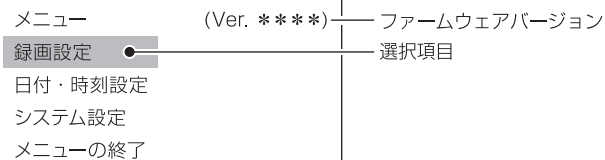
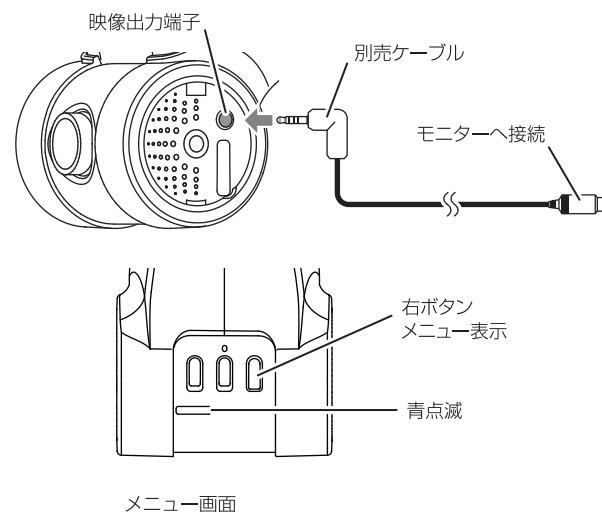
メニュー

■ メニュー表示

本機の設定を変更できます。

別売品の映像ケーブルを接続して、右ボタンを押します。接続したモニターにメニュー画面が表示されます。

※右ボタンは映像ケーブルを接続しなければ操作できません。



メニュー

■ 録画設定

- 録画解像度（初期設定：FHD）
解像度を設定します。
FHD：1920×1080
HD：1280×720
- 明るさ（初期設定：0）
録画時の明るさを設定します。
-1 が暗く、1 が明るくなります。
- ビデオ出力（初期設定：NTSC）
出力する映像方式を設定します。
※PAL 方式で出力した場合、対応していないモニターでは映像が表示されません。ご注意ください。
- G センサー（初期設定：Level 3）
G センサーの感度を設定します。
オフ：衝撃検知録画を行わない
Level 1：鈍感
Level 5：敏感
※感度を高く設定すると、小さな衝撃などでも G センサーが検知する場合があります。
- 鏡像（初期設定：オフ）
録画映像の左右を反転します。

メニュー

■ 日付・時刻設定

- 日付形式（初期設定：年月日）
録画映像に記録する日付形式を設定します。
- 時刻設定
時刻を設定します。

■ システム設定

- 言語（初期設定：日本語）
表示言語の言語を設定します。
- ボリューム（初期設定：ボリューム 3）
音声案内、操作音、ブザー音の音量を設定します。
なし：すべての音が出なくなります。
ボリューム 1：最小音量
ボリューム 4：最大音量
- SD カードの初期化
microSD カードをフォーマットします。
※microSD カード内の全てのデータが削除されますので、重要なデータはパソコンなどにバックアップをしてください。
※フォーマットを途中で取り消すことはできません。
- 設定のリセット
すべての設定項目を初期設定値に戻します。

ファイルの再生

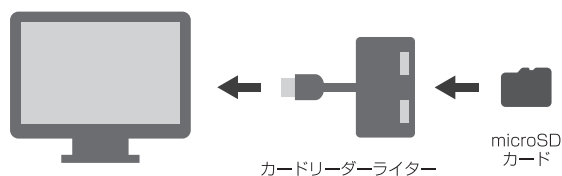
本機で録画した映像は MOV ファイルに対応した動画再生プレイヤーで再生することができます。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されない場合があります。

- microSDXC カードを接続する場合は、接続する機器側が SDXC 規格に対応している必要があります。
- SDXC 非対応の機器に microSDXC カードを差し込むと、保存されているデータが破損することがあるため差し込まないでください。
- SDXC 非対応機器との接続には microSDHC カードをご利用ください。

■ 動画の再生

1. パソコンに SD カードリーダーライターを接続します。
※パソコンに直接 SD カードを接続できる場合はリーダーライターは必要ありません。



2. SD カードリーダーライターに microSD カードを挿入します。
※必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用してください。
3. デスクトップ上のコンピュータ (PC) からリムーバブルディスクを開き、Normal フォルダ内の動画ファイルを選び再生します。
※お使いになるパソコン環境によって「SD カード」等表示される場合があります。

本体ソフトウェアのアップデート

本体ソフトウェアの更新時には、慶洋エンジニアリングのホームページ上でお知らせいたします。

■ アップデートする

1. 慶洋エンジニアリングのホームページ (<http://www.keiyoeng.co.jp/>) へ PC からアクセスします。
2. 本体ソフトウェアアップデートを確認し、ファイルをパソコンにダウンロードします。
3. ダウンロードしたアップデートファイルを microSD カードの最上階層にコピーします。
4. microSD カードを本機に挿入し、電源をオンにします。
5. LED が点滅し、アップデートを開始します。
6. アップデートが完了すると LED が消灯します。

⚠ アップデート中は絶対に電源を切らないでください

アップデート中に電源を切ると、ソフトウェアが破壊され起動できなくなる可能性があります。

製品仕様

カメラ	センサー	CMOS 約 200 万画素
	録画画角	水平：約 136° / 垂直：約 69° / 対角：約 166°
録画サイズ	FHD (1920×1080) / HD (1280×720)	
フレームレート	24fps	
録画ファイル	常時録画 / 手動録画 / 衝撃検知録画	
録画時間	常時録画：1 分、手動録画 / 衝撃検知録画：30 秒	
音声録音	オン / オフ 切り替え可能	
GPS	無	
G センサー ※1	有 (オフ / 5 段階)	
メモリーカード	microSDHC カード：8 ~ 32GB microSDXC カード：64 ~ 128GB CLASS10 以上	
電源	DC 12V / 24V (12V 時：約 200mA、最大 約 400mA)	
サイズ	約 52(W)×41(H)×76(D) mm (レンズ可動最大値)	
質量	約 79g (microSD カード含まず)	
録画方式	MOV (H.264)	
動作温度範囲	-15℃ ~ 75℃	

※1 感度調整には別売品の映像ケーブルを接続して行います。

※すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。

※8 ~ 32GB の microSDHC カード、64 ~ 128GB の microSDXC カード以外はご利用になれません。

※初めて使用される microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。

MEMO

保証書

■ 保証規定

- 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
- 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
- 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
 - お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
 - 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
- ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

保証書 (書き込み欄)

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上お買い上げの販売店、または株式会社アプティに修理をご依頼ください。本書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。※microSDHC カードは消耗品のため、保証の対象外です。

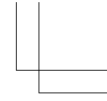
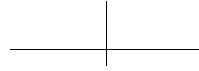
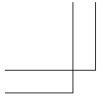
品名	リアドライブレコーダー
機種名	UP-K/R
保証期間	お買い上げ日より2年間(本体)
	お買い上げ日： 年 月 日
販売店	店名
	住所
	電話

ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

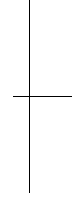
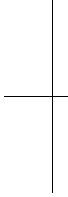
販売元 株式会社アプティ
〒153-0043 東京都目黒区東山 1-5-4 KDX 中目黒ビル 2F
<https://upty.jp/>
TEL : 03-6774-0191 (代表)

製造元 株式会社慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋 6-13-1 第3長谷川ビル 5F
<http://www.keiyoeng.co.jp/>
TEL : 03-3431-8194 (サービス)
受付時間 月曜日～金曜日(平日のみ) 10:00～12:00/13:00～16:00

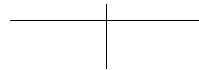
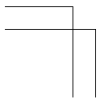


MEMO

MEMO



38



39

